

ATAC宿泊見学研修会報告

松下電器産業株式会社&ヤマハ株式会社

◆ATAC宿泊見学研修会

ATAC宿泊見学研修会とは、ATACメンバーの重要な年中行事の一つで、全国の特徴ある製品または生産方式を選んで工場見学を行った後、一泊研修により見聞と知識を広め、日ごろのコンサルティングに活かすのが目的で、平成16年度は12月8～9日の両日静岡県で実施しました。

◆松下電器産業株式会社

ホームユーティリティ事業部静岡工場(袋井市)見学記

ここでは、洗濯機の生産工場で「ななめドラム式」を発売して以来、売れ筋のトップを走る人気商品となっているので、その人気の秘密と生産方式を勉強するため、見学先を選びました。

見学に先立ち、古谷工場長から「創る」「拡げる」「連打する」という考え方に基づく工場経営についてのお話があり、市場で歓迎され拡がる商品は単発でなく連打されて、次の商品に繋いでいかねばならないという、心を打つ話がありました。



▲ななめドラム式洗濯機

組立ラインを見学した印象は成る程と思わせるものでした。それは時代の先端に行く自動化・無人化ではなく、ブロックセル方式と称する組立方式を採用し、1ブロックは12～20名で構成され、社内外の組立作業員の配分も半々として、機種変え・段取り変えに40分以内で対応できる柔軟性をもたせているのが特徴です。将来仮に市場動向の変化で、製造担当工場が中国あるいは東南アジア諸国に移ったとしても、設備投資が無駄にならないという利点があると考えられます。

組立ラインに沿って歩くと「ななめドラム」を設計した方々に思いが伝わってきます。先ず「ななめドラム」を消費者の使い勝手を考えて中心に配置し、モーター・洗剤・乾燥・付帯する異物除去のフィルター等の諸装置を、周辺の空間に無理なく無駄なく配置しています。肝心のモーターは、多極のフラットモーターをドラムに直結し、インバーター制御で騒音・振動を抑える簡明な考え方を採用しています。ドラムを斜めに配置すると、どうしても取り纏める設計にしわ寄せが及んで「長年の使用のあとでは、糸くずやその他異物の蓄積などから故障しやすいのではないか」という気持ちでラインに沿って歩いておりましたが、逆にこの洗濯機は故障しないなあ、と考えるようになりました。止むを得ず、心無くも無理に押し込んだ配置をせざるを得なかったという設計が皆無だからです。

その後の研究会でも「将来理想とされる洗濯機は、今後どんな姿で現れるのか」「衣類洗濯の原理原則を特許にする革命的な発想が生まれるか」「そうなった暁には、組立

ラインはどう変化しているか」「その時ブロックセル方式は完全無人の自動化ラインに変貌しているかもしれない」など、意見が出て、今回の見学は大変有益な勉強をさせていただいたとの結論でした。

◆ヤマハ株式会社

本社ピアノ工場、豊岡管楽器工場見学記

楽器工場の見学は今回が初めての体験で、一般の工業製品と異なり、品質・コスト・納期にこだわるのではなく、楽器に必要な人間の感覚や感性をも加味した生産方式に深い感銘を受けました。

ピアノ工場・管楽器工場ともヤマハグループの企業目的「音・音楽を原点に培った技術と感性で新たな感動と豊かな文化を世界の人々とともに創りつづけます」に沿って工場内は随所に感性豊かな名工の技能が活かされていました。

ピアノ組立工場では25工程のうち調律・調音・調整という人間の感覚に頼る工程を多く取り入れ、張弦など重要な工程は一本ずつ手作業で行う慎重さを見学して、楽器は精度高い部品を組み合わせれば出来るものではなく、感性豊かな熟練技能者の計器では測れない高い能力によって生まれることを実感しました。ピアノ1台を作るのに、原木の仕入れから製品完成まで3年もかかり、そのうち2年は原木の自然乾燥に費やすというこだわりは弾き手の感性を映すピアノづくりへの執念と感じ取れました。



▲管楽器工場ショールーム

時間と時間を惜しまぬ慎重さです。高級品は機械を使わず熟練者の手による工程を経て立派な彫刻で仕上げられており、各種管楽器を合わせて年間30万本も作る世界一の工場ですが、高級品ほど名工の

管楽器工場も自動化できる工程はロボットを多用していますが、重要工程の内部洗浄に1時間、塗装に2



▲ピアノ工場ショールーム

技能と感性に頼り続けている現場を見て「究極のこだわり商品の量産現場はかくあるべし」と納得した次第です。最後に由緒ある管楽器を展示した「匠の部屋」では一堂に展示された光輝く展示品に音のヤマハを象徴する荘厳さを感じました。

見学を終わって、音に生きる顧客の感性こもった要望を満足させる徹底したこだわり商品の誕生までの過程を振り返り、日ごろ接する工業製品のものづくりとは一味違う芸術品の量産工場の真剣な取り組みに深い感銘を受けた次第です。

(河南・野町・田頭)